

2024(令和6)年 12月 16日

報道関係者 各位

松 山 大 学

本学人文学部創設50周年記念・シンポジウムのほか、映像作家が講演
地域を撮る愛媛出身映像作家 杉田 このみ氏が登壇
12月21日(土)13時より 本学文京キャンパス820番教室にて

松山大学では、12月21日(土) 13時より、本学人文学部創設50周年記念講演会を行います。第1部では本学人文学部の開設より大きな貢献をしてきた 岡山 勇一(おかやま ゆういち)名誉教授、山田 富秋(やまだ とみあき)名誉教授によるシンポジウムを行います。第2部では、愛媛出身で、愛媛を舞台にした映画を作成し、現在専修大学准教授でもある杉田 このみ(すぎた このみ)氏にご登壇いただき、大学での教育実践や、学生主導によるプロジェクトの実践についてもご紹介いただきます。

本学人文学部の50周年の節目にふさわしく、人文学部社会学科と英語英米文学科のこれまでとこれからを考える貴重な機会となります。ぜひ、ご取材ください。

開催概要

日 時:2024年12月21日(土) 13時~15時30分

場 所:本学文京キャンパス 820番教室

内 容:第1部 13時~14時 シンポジウム

テーマ「松山大学人文学部のこれまで・これから」(司会:小松 洋 教授)

岡山勇一(おかやま ゆういち)名誉教授

山田 富秋(やまだ とみあき)名誉教授

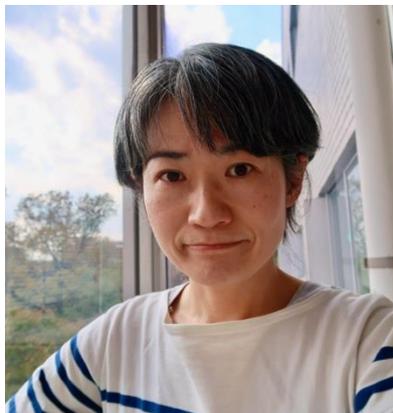
第2部 14時10分~15時30分 講演

テーマ「地域を見つめ、その思いを表現する ―地域文化発信の可能性―」

杉田 このみ(すぎた このみ)氏 専修大学准教授・映像作家

※会終了後、本学樋又キャンパス1Fのレストラン「ル・ルパ」にて懇親会を予定しております。

<杉田このみ氏プロフィール>



映像作家。愛媛県松山市に生まれ育つ。1998年に武蔵野美術大学映像学科進学のため上京。2000年より故郷である愛媛を舞台にした映画の自主制作を続けている。また、2014年9月より千葉商科大学制作情報学部助教授として映像表現についての教育と研究を行う。2019年より、専修大学ネットワーク情報学部講師、2022年より現職。代表作に睦月島を舞台にした映画『こぎいでな』(2003年、60分)、愛南町を舞台にした『日-hitsuki-月』(2007年、60分)、大正時代の俳人・富田木歩の生涯を描いた朗読ドラマ『ふと、木歩という名をおもう』(2008年、25分)、2011年から睦月島を舞台にしたアートプロジェクト『今日、この島に私があります』に取り組む。著書に『アクション! 地域を変える8人との対話』(単著、アトラス出版、2015年)。

<会場案内>

※駐車場の利用をご希望の場合は事前に下記問い合わせ先までご連絡ください。

